

2023 ‘長根サマースピードスケート競技会 競技会当日の救護体制について

青森県スケート連盟

- 1 救護スタッフの構成 ドクター及び救護係

- 2 救護スタッフ待機場所
○ドクター 「メディカルエリア（ホームストレート側リンクサイド中央付近）」 ※無線配置

- 3 設置場所
バックボード：中地中央付近、第1カーブ・第2カーブ外側リンクサイド中央付近
ストレッチャー：「メディカルエリア」

- 4 事故（転倒等）発生時の手順
 - (1) I次救急
 - *レフェリー団（最寄りのレフェリー又はアシスタントレフェリー）の判断により、救護の必要性を判断
 - ①不要の場合（すぐに立ち上がり動いた、出血が認められない等）
 - ⇒ 氷の状態を確認後、レース・練習等継続のアナウンスの指示
 - ②必要な場合（動けない、出血等を認めた場合）
 - ⇒ II次救急へ 無線により、ドクターに出動を要請
 - レース・練習等を中断（アナウンスの指示）、
 - (2) II次救急
 - ①救護スタッフ（ドクター・救護係）が現場へ
 - ※バックボード用意：中地待機の救急係
 - ストレッチャー用意：ラップスコアラー ※リンクサイドを移動
 - ②ドクターが救急搬送の必要の有無を判断
 - ア) 無し 応急処置（ドクター対応）
 - イ) 有り 応急処置（ドクター対応）及び救急搬送の依頼（事務局対応）⇒III次救急へ
 - ※バックボードに乗せ、最寄りのコーナーマット越しにリンク外への搬出
 - リンク内担当（3～4名）：救護係、コーナージャッジ
 - ストレッチャーにより医務室に移動 ⇒ リンク外担当（3～4名）：総務係
 - ※ドクターは医務室にて応急処置
 - ※リンク外の救護係は、医務室へ移動完了後、メディカルエリアに戻ってリンクサイドで待機し、次のレース再開に備える。
 - ※レフェリーは、レース再開の判断をして、アナウンスの指示。
 - (3) III次救急
 - 救急隊到着後、救急隊員への症状等の説明（ドクター対応）
 - *救急搬送の際は、各チームのスタッフが付き添いする

5 その他

- (1) 救急用品は、主催者が用意する。
- (2) 救護ドクターは、大会中の選手の自己申告による外傷等にも対応する。

6 ドクター配置表

月日	曜日	従事時間	担当者ドクター
8月26日	土	7:45~16:45 (競技終了) ※予定	沼沢拓也先生 (八戸市民病院)
8月27日	日	7:45~16:45 (競技終了) ※予定	和田誠之先生 (和田整形外科クリニック)

八戸市の救急体制について

- 1 休日や夜間での軽い体調不良の場合、以下のところで診療を受けることができます。

八戸市休日夜間急病診療所

場所 八戸市田向三丁目6-1 八戸市総合保健センター1階

電話 0178-20-7651

診察時間 平日(月~土) 19時~23時

日曜・祝日 12時~23時 (12月31日~1月3日を含む)

診察科目 内科・小児科・外科系

【発熱等の風邪症状で受診される方へのお願い】

- ・必ず受診前に電話連絡 (0178-20-7651) をお願いします。
- ・できるだけ自家用車でお越しください。(車でお待ちいただく場合があります)
- ・診療の呼び出し等を電話で行う場合がありますので、携帯電話がある方はお持ちください。

- 2 本日の受付時間から医療機関や薬局を検索することができます。

あおもり医療情報ネットワーク (<https://www.qq.pref.aomori.jp/>)

携帯電話から **モバイルはちのへ**

(<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/m/zaitaku/>)



- 3 在宅当番医

在宅当番医制度は令和5年3月をもって終了となり、休祝日に受診できる医療機関は八戸市休日夜間急病診療所 (八戸市総合保健センター1階) に集約されます。